

ふるさと歴史散歩

〔第60回〕 道隆寺③

仏教が外国から入ってきた宗教であつたため、受け入れ反対の排仏派と賛成の崇仏派との間で激しい衝突を引き起こした。しかし、592年に崇仏派の推古天皇が即位し、翌年、同じ崇仏派の聖徳太子が摂政となつてから、仏教が本格的に受容されて大発展のスタートとなつた。

聖徳太子の「十七条の憲法」に「篤く三宝（仏・法・僧）を敬え」とあり、この頃、多くの豪族が競つて私寺を建立した。しかし、推古天皇は自ら寺の建立は行わなかつた。天皇が建立した初めての寺院は、舒明天皇の639年に建立した百済大寺であるので仏教が伝わつておよそ90年後ということになる。以後、天智・天武・文武朝で大官大寺、川原寺、葉師寺、法興寺の飛鳥四大寺が建立された。こうして仏教は豪族が受容の段階を経て朝廷が受容し、国家仏教の道を歩むことになった。一方、東アジア世界には隋（589-618）という強大

な統一帝国が出現し、周辺諸国は競つて使節を派遣した。高句麗、百済、新羅は隋朝に遣使朝貢した。わが国の遣隋使は全て推古朝に行われた。小野妹子を派遣した時、「日出ずる処の天子云々」の国書は隋の煬帝から「蛮夷の書、無礼である」と不興を買つたが、この書の前文に「海の西の菩薩天子（隋の皇帝）は仏法を大変重んじていると聞いてい

るので、使節を送ります。一緒に数十名の修行僧を同行させるので、仏法を学ばせてください」とあり、日本も仏教を熱心に信奉する文明国であることを切々と訴えている。これは周辺諸国、特に中国との外交には仏教が共通のキーワードであつたからだ。

府中町文化財保護審議会会長

横田 禎昭



図版 聖徳太子 『図説日本文化の歴史2 飛鳥・白鳳』小学館 より



正しいごみ出しにご協力を

府中町清掃事務所 ☎ 286-3266



ごみの特別収集

午前8時30分 までにごみステーションに出してください。

11/3 (月・祝)	北部	普通ごみ（月・木曜日地区）
	南部	有価物（月曜日地区） ビン・缶・金属類・新聞・雑誌・布類・ダンボール
11/24 (月・振替休日)	北部	普通ごみ（月・木曜日地区）
	南部	有価物（月曜日地区） ビン・缶・金属類・新聞・雑誌・布類・ダンボール

- ただし、清掃事務所へのごみの持ち込みは受け付けていませんので注意してください。
- ごみの種類を間違えないようにお願いします。



有価物の収集

有価物は、品目別に順番（①新聞・雑誌②ダンボール③布類④ビン・缶・金属類）に収集しています。すべての有価物収集が終わっていない場合でも、すでに収集済みの品目を後から出さないでください。



決まったものを決まった日に

ごみステーションは、地域のみなさんのご協力で清潔に保たれています。収集日と違うごみを出されると収集できず、ごみステーションに放置されたままになってしまいます。

町の美化のため、みなさんのご協力をよろしくお願いします。